

平成23年度第3次補正予算について（観光関係）

1. 国内観光活性化緊急対策事業 【650百万円】

震災後、全国的に落ち込んでいる国内観光需要を着実に回復させるため、国内旅行促進のための環境整備、機運醸成、需要創出に資する取り組みを実施

①環境整備（1.5億円）

→休暇取得と外出／旅行促進に向けての企業に対する働きかけ（「ポジティブ・オフ」運動）

②機運醸成（2.0億円）

→官民合同国内旅行振興キャンペーン

③需要創出（3.0億円）

→新たな国内旅行需要創出のためのモニターツアー事業

2. 外客誘致緊急対策事業 【1,389百万円】

震災後、大幅に落ち込んでいる訪日外客を早急に回復させるため、5大市場（韓国・中国・台湾・米国・香港）を対象としたプロモーション、国際会議等のキャンセル防止、将来の需要回復に向けた外客受入環境の整備を実施

①プロモーション、旅行会社・メディア招請事業（561百万円）

②国際会議等のキャンセル防止事業（28百万円）

③受入環境整備事業（800百万円）

→公共交通機関の利便増進のための言語バリアフリー事業

3. 広域連携観光復興対策事業（東北観光博） 【550百万円】

観光による被災地復興を図るとともに、広域的なエリアを単位とした新たな観光地づくりのモデルを構築するため、東北地方全体を博覧会場と見立てた「東北観光博」を実施。地域の再生・活性化を目的とした官民の様々な取り組みを連携させ、統一的な情報発信等を行うことにより、東北地方への効果的な集客を実現

4. 地域再生のための観光業支援事業 【57百万円】

被災3県（岩手、宮城、福島）及び風評被害が認められる北関東3県（群馬、栃木、茨城）の中で観光業が中心となっている地区の再生を目的に、事業再生や観光地域づくりの専門家チームを派遣し、現地相談会を通じて実践的なアドバイスを実施

合計：2,646百万円